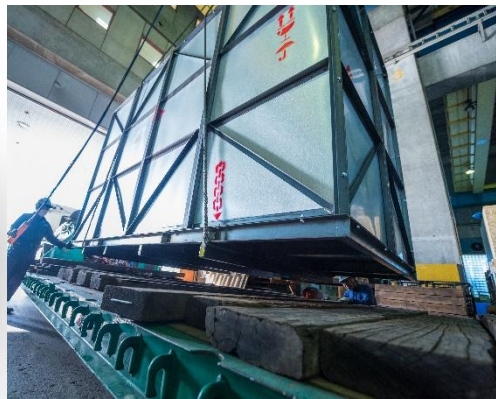


2026年3月期 第2四半期 決算説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ
2025年12月12日

東証スタンダード
【証券コード：9366】



本日のご説明内容

1. 2026年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期 中期経営計画
3. 2026年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix
 - ・2026年3月期 第2四半期 連結貸借対照表
 - ・2026年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書
 - ・外部環境

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要

2. 2024年3月期～2026年3月期 中期経営計画

3. 2026年3月期 業績予想

4. サステナビリティへの取り組み

5. Appendix

1-1. 2026年3月期 第2四半期決算概要

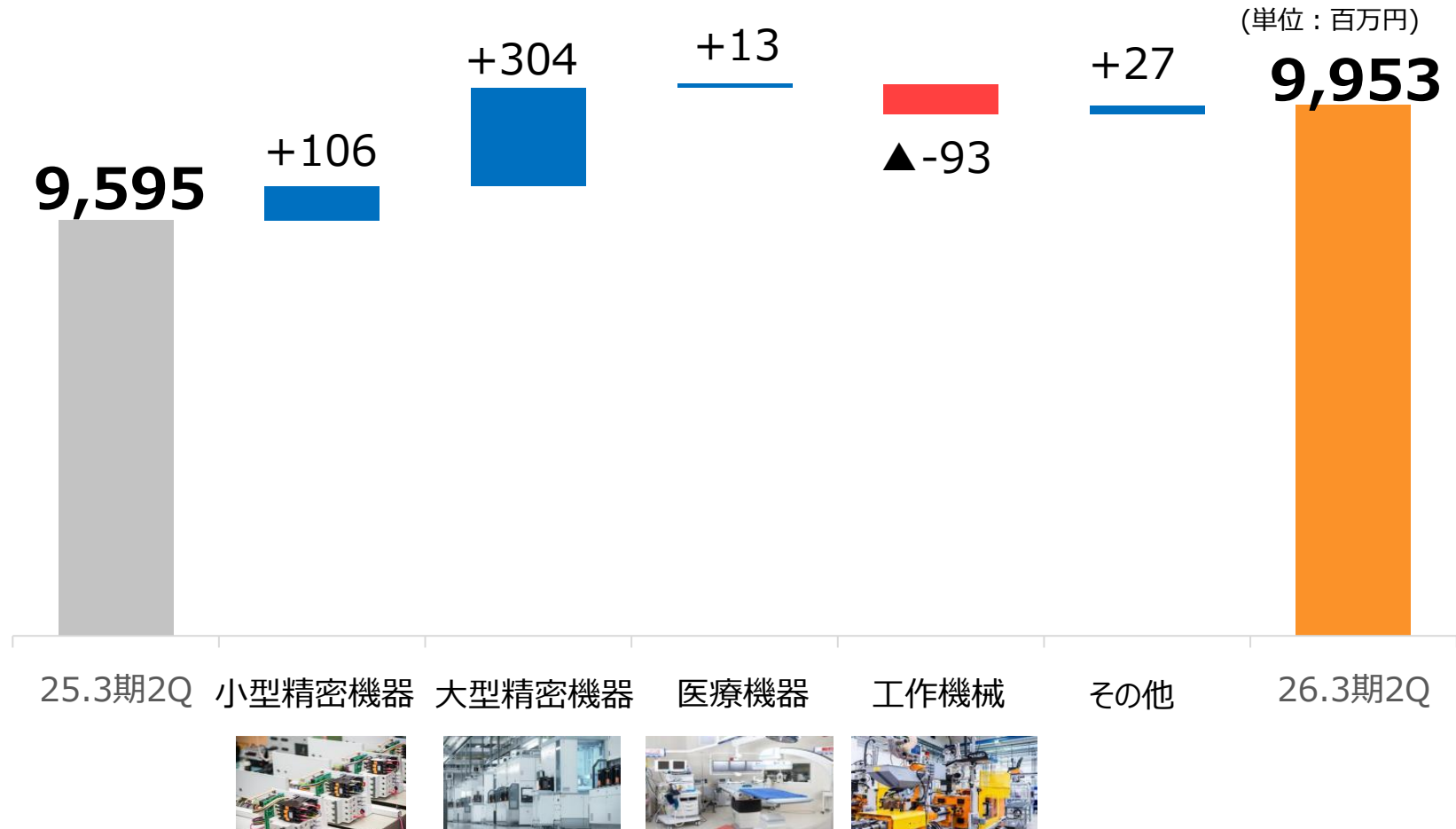
- ・売上高 : 日本国内における工作機械の取扱いが好調に推移したことに加え、新たに開設した府中倉庫の稼働により増加
- ・営業利益 : 主に関税等の影響を受け米国子会社における工作機械の取扱いが低調に推移したことにより減少

単位：百万円	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年比 増減	業績予想	予想比増減
売上高	9,595	9,953	+358	9,800	+1.6%
売上原価	7,508	7,902	+394	-	-
(売上原価率)	78.2%	79.4%	+1.2pt	-	-
販売管理費	1,646	1,642	▲4	-	-
(販売管理費比率)	17.2%	16.5%	▲0.7pt	-	-
営業利益	440	408	▲32	310	+31.6%
(営業利益率)	4.6%	4.1%	▲0.5pt	3.2%	+0.9Pt
経常利益	314	356	+42	180	+97.8%
中間純利益※	199	230	+31	120	+91.7%
(中間純利益率)	2.1%	2.3%	+0.2pt	1.2%	+1.1Pt

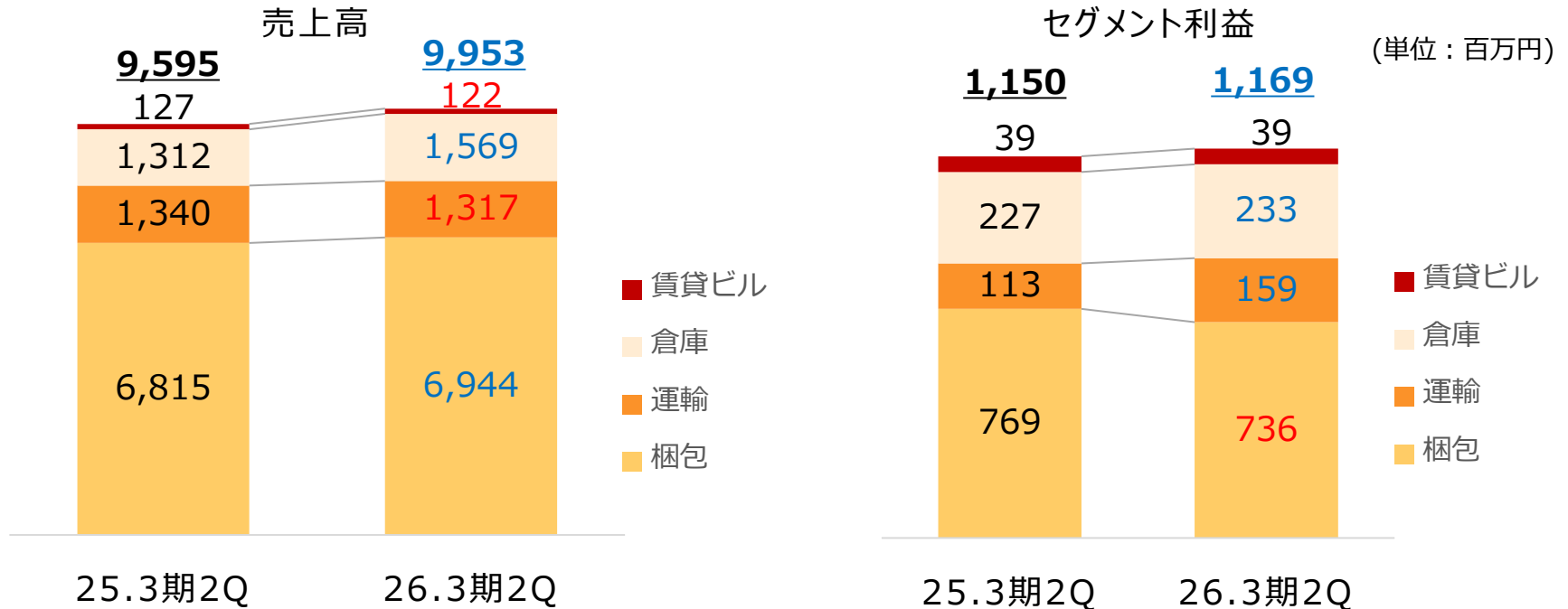
※ 中間純利益：親会社株主に帰属する中間純利益及び純損失を示します。以降のページ同様です。

1-2. 取扱製品群別売上高増減

- ・府中倉庫の稼働により大型精密機器の取扱いが増加
- ・米国において工作機械の取扱いが減少



1-3. セグメント別実績



梱包事業：増収減益

- ・日本国内における工作機械の輸出取扱いが好調に推移したことに加え、電力変換装置の取扱いが増加したことにより増収
- ・関税等の影響により米国子会社における工作機械の取扱いが低調に推移したため減益

運輸事業：減収増益

- ・医療機器の取扱いが軟調に推移したことにより減収
- ・輸送費の値上がり分について顧客への価格転嫁を進めたことにより増益

倉庫事業：増収増益

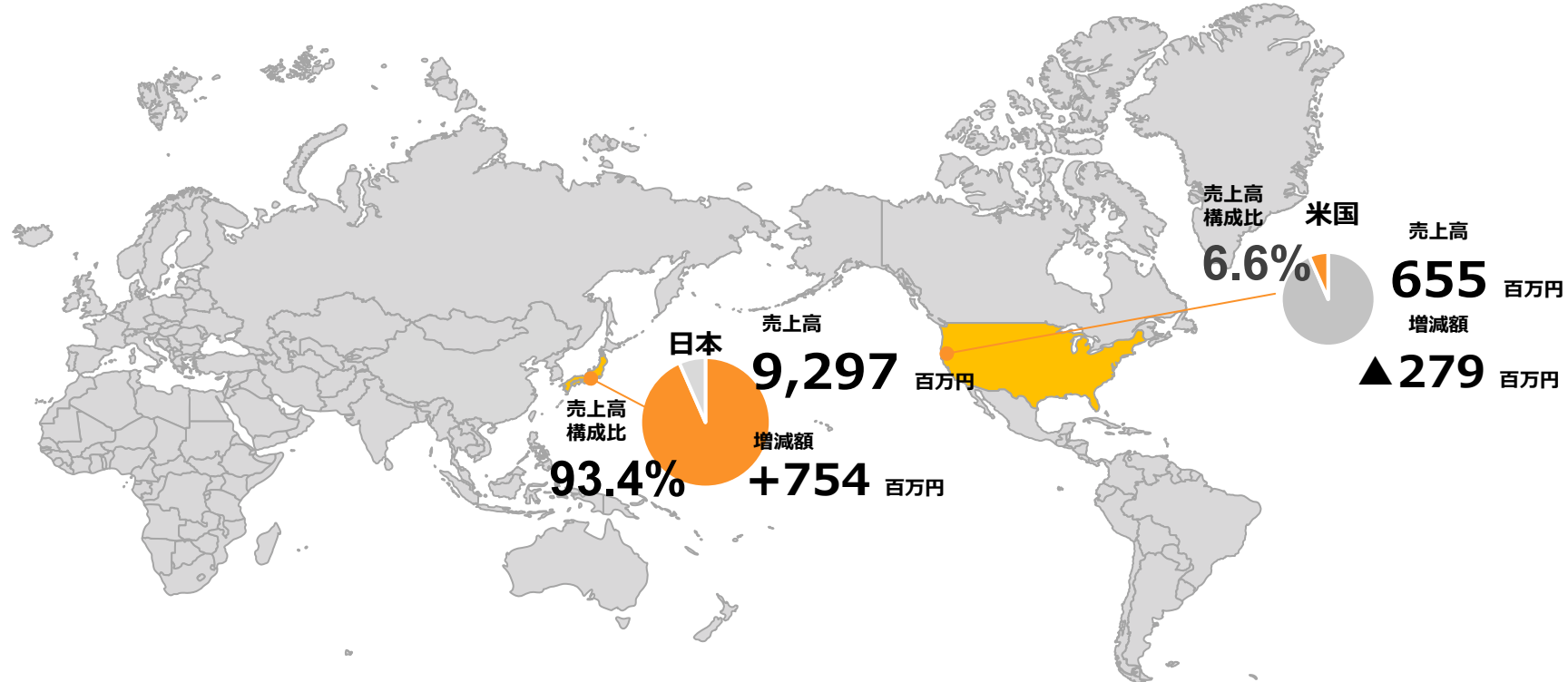
- ・新たに開設した府中倉庫の稼働及び顧客の倉庫集約により生じた空き倉庫スペースへの客付けが進んだことにより、増収増益

賃貸ビル：減収減益

- ・本社ビルの稼働率が低下したことにより減収減益

1-4. 地域別売上高

- ・国内においては工作機械の取扱いが好調に推移したことに加え、新たに開設した府中倉庫が稼働し増収
- ・米国においては主に関税等の影響を受け工作機械の取扱いが低調に推移し減収



USD/JPY=148.60

2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2026年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

2-1. 事業環境トレンド



2-2. 中期経営計画の概要

中・長期ビジョン

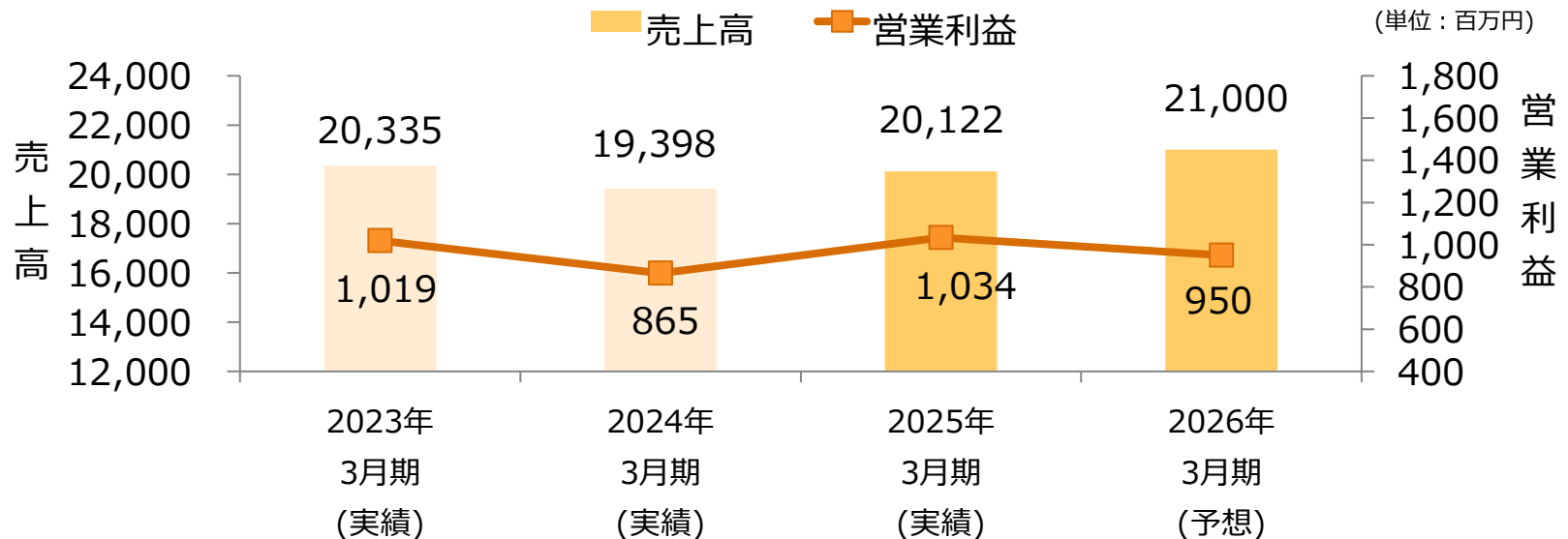
オペレーションからソリューションへ

『ソリューション』

お客様との対話を繰り返すことで、今まで引き出せなかったニーズだけでなく、お客様さえ気づいていない真のニーズを引き出し解決する「ソリューション」の力を身に着けていく。

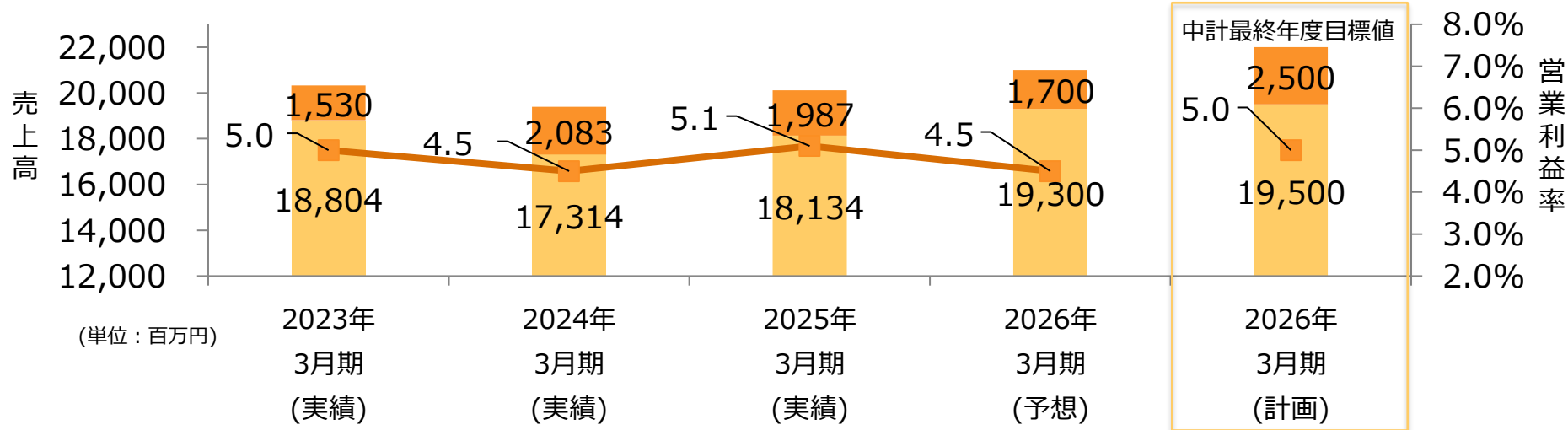
2-3. 中期経営計画の概要（経営目標）

2026.3 売上高	22,000 百万円	2026.3 営業 利益	1,100 百万円	2026.3 営業 利益率	5.0%
伸び率	8.2%	伸び率	7.9%	伸び率	—
2023.3 売上高	20,335百万円	2023.3 営業 利益	1,019百万円	2023.3 営業 利益率	5.0%



2-4. 中期経営計画の概要（国内海外比較）

重要指標：2026年3月期 営業利益率5.0% ■ 国内売上高 ■ 海外売上高 —■— 連結営業利益率



連結	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	2026年3月期 (計画)
売上高	20,335	19,398	20,122	21,000	22,000
国内	18,804	17,314	18,134	19,300	19,500
海外	1,530	2,083	1,987	1,700	2,500
営業利益	1,019	865	1,034	950	1,100
国内	907	654	656	800	880
海外	112	211	378	150	220
営業利益率	5.0%	4.5%	5.1%	4.5%	5.0%

(単位：百万円)

2-5. 中期経営計画の進捗

事業戦略	進捗
収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 適切な値上げ交渉を進め、運輸事業において利益率は前年同期比3.7pt上昇 各セグメントにおいて材料費、人件費の上昇に伴う適正価格の追求
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> 成田新倉庫及びSLA Georgia Branchへの投資
DX	<ul style="list-style-type: none"> ロジメーターやキントーンを用いた効率化の横展開 DX関連への総投資額約1億円を見込む
サステナビリティの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減のため木箱梱包から段ボール梱包への転換を提案し実施 複数案件の集約や共同輸送の提案
事業運営の基盤強化	進捗
人材育成計画	<ul style="list-style-type: none"> 社内での梱包教育を継続的に実施 顧客専属の営業担当を配置し真のニーズを引き出す
サステナビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティPT主催で女性/男性社員交流会開催 職場環境アンケートの実施



【米国西海岸 新倉庫完成】
2023年10月稼働開始

オーバーヘッドクレーン 30 トン 2 基
7トン・3トンフォークリフト 各 1 台
敷地面積5,548 m²(1,678 坪)
延床面積2,508 m² (760 坪)



【X線検査装置の導入】
KS/RA制度の厳格化に伴い非KSの貨物に対して内容物の検査が必要となるが、X線検査装置の導入により、開梱することなく検査可能となる

2-6. 中期経営計画の進捗（府中倉庫本稼働）

事業戦略	進捗
顧客理解深化によるソリューション提案	<ul style="list-style-type: none"> ・主要顧客外部倉庫の集約提案により府中倉庫本稼働へ ・顧客工場の増産体制構築への対応として、梱包のリードタイムを短縮
	 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客と共にAUTOSTOREなどDX設備を導入し省人化、省力化 ・顧客工場に隣接した立地を活かしJIT納品を実現
名称 SANKEILOGI府中	
所在地 東京都府中市武蔵台一丁目1-3	
交通 国立府中ICから3.6km 北府中駅から徒歩10分	
敷地面積 約16,877㎡（5,105坪）	
延床面積 約39,617㎡（11,984坪）	
当社賃借面積 1階、4階 15,659.03㎡（4,736坪）	 <ul style="list-style-type: none"> ・施設には従業員用カフェテリアを完備 快適な空間を確保

2-7. 中期経営計画の進捗

事業戦略	進捗
シームレスな国際一貫物流サービスを推進し、輸出入案件の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・米国西海岸新倉庫稼働により、シームレスな国際一貫物流サービスの拡張へ ・米国南東部のジョージア州サバナ港に新倉庫建設（2025年8月竣工） ・欧州進出は、顧客動向及び海外におけるリソースを米国に集中するという判断の基、見送り
成田地区の事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新倉庫の事業計画策定及びシンジケートローンの契約完了（2026年7月竣工予定） ・ターゲット企業の獲得に向け営業戦略会議を毎月実施



成田地区新倉庫

- ・延床面積：26,777.68 m² (8,100.25 坪)
- ・大型5t EV 1基、4.1t EV 1基、5tサスペンションクレーン 1基、テーブルリフター10t 1基、小型 1基、ドックレベラー2基等

SLA Georgia Branch

- ・延床面積：5,921 m² (1,791 坪)
- ・オーバーヘッドクレーン 33トン 1基、25トン 1基、フォークリフト、ローディングドック 3ヶ所 等

3. 2026年3月期 業績予想

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2026年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

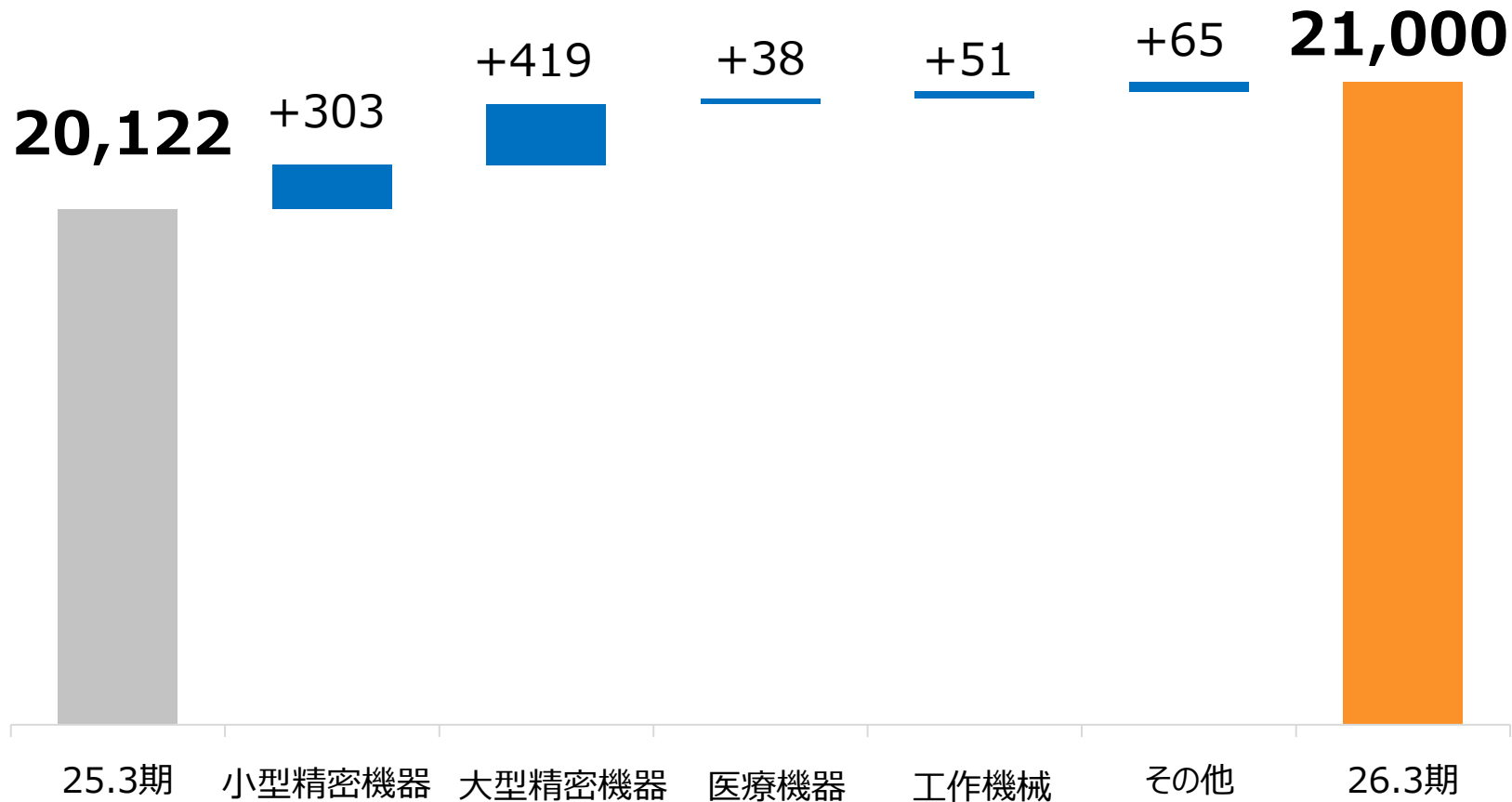
3-1. 連結業績予想

・府中倉庫本格稼働及び工作機械の取扱い復調による増収を見込む

単位：百万円	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	増減	増減率 (単位：百万円)
売上高	20,122	21,000	+878	+4.4%
売上原価	15,721	16,610	+889	+5.7%
(売上原価率)	78.1%	79.1%	+1.0Pt	-
販売管理費	3,365	3,440	+75	+2.2%
(販売管理費比率)	16.7%	16.4%	▲0.3Pt	-
営業利益	1,034	950	▲84	▲8.1%
(営業利益率)	5.1%	4.5%	▲0.6pt	-
経常利益	802	730	▲72	▲9.0%
当期純利益	468	490	+22	+4.7%
(当期純利益率)	2.3%	2.3%	±0pt	-
(参考) 設備投資	1,510	4,300		
(参考) 減価償却費	832	850		

3-2. 取扱製品群別売上予想

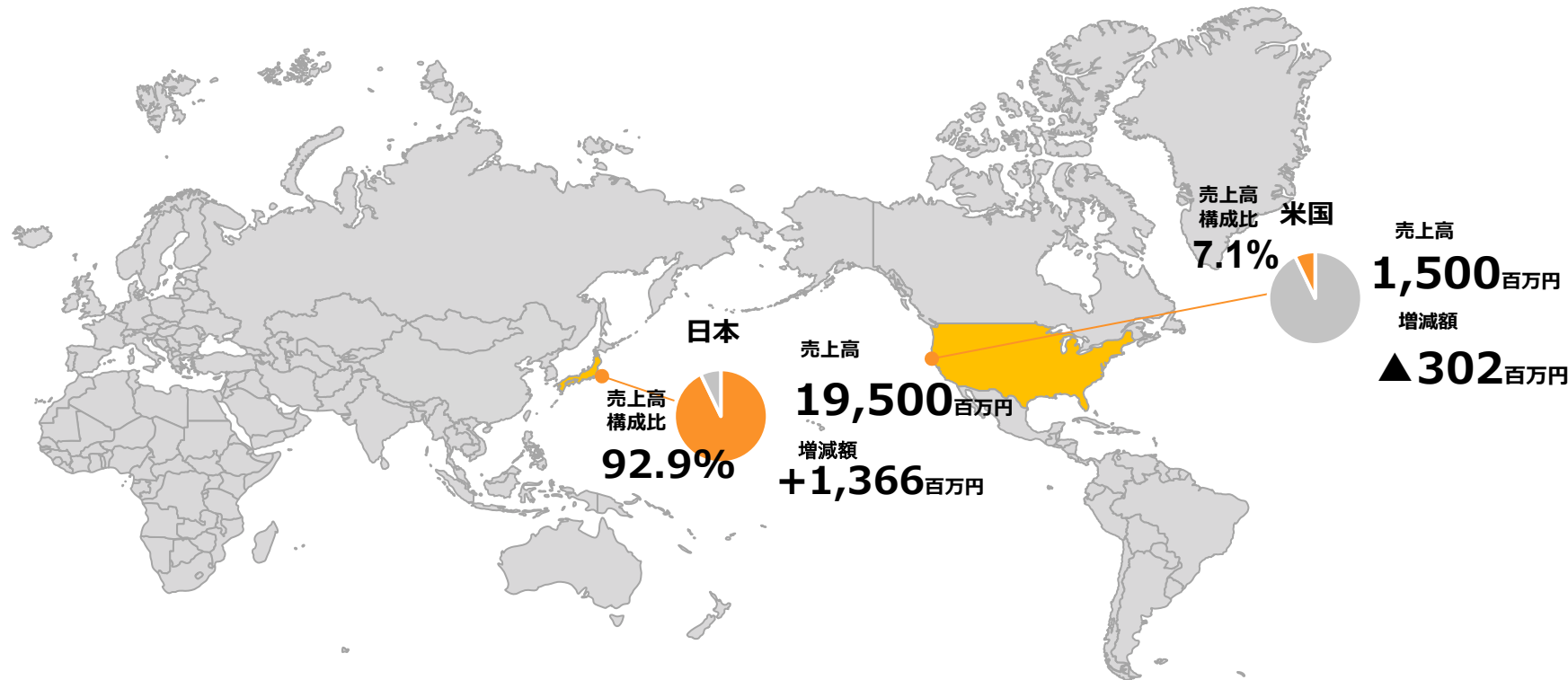
- ・日本では各製品群好調な取扱いの増加を見込む
- ・米国では工作機械取扱い減少見込む



単位：百万円

3-3. 地域別業績予想

- ・日本では府中倉庫本稼働及び工作機械取扱いの復調による増収見込み
- ・米国では顧客の調達方法変更に伴う売り上げ減少を見込む



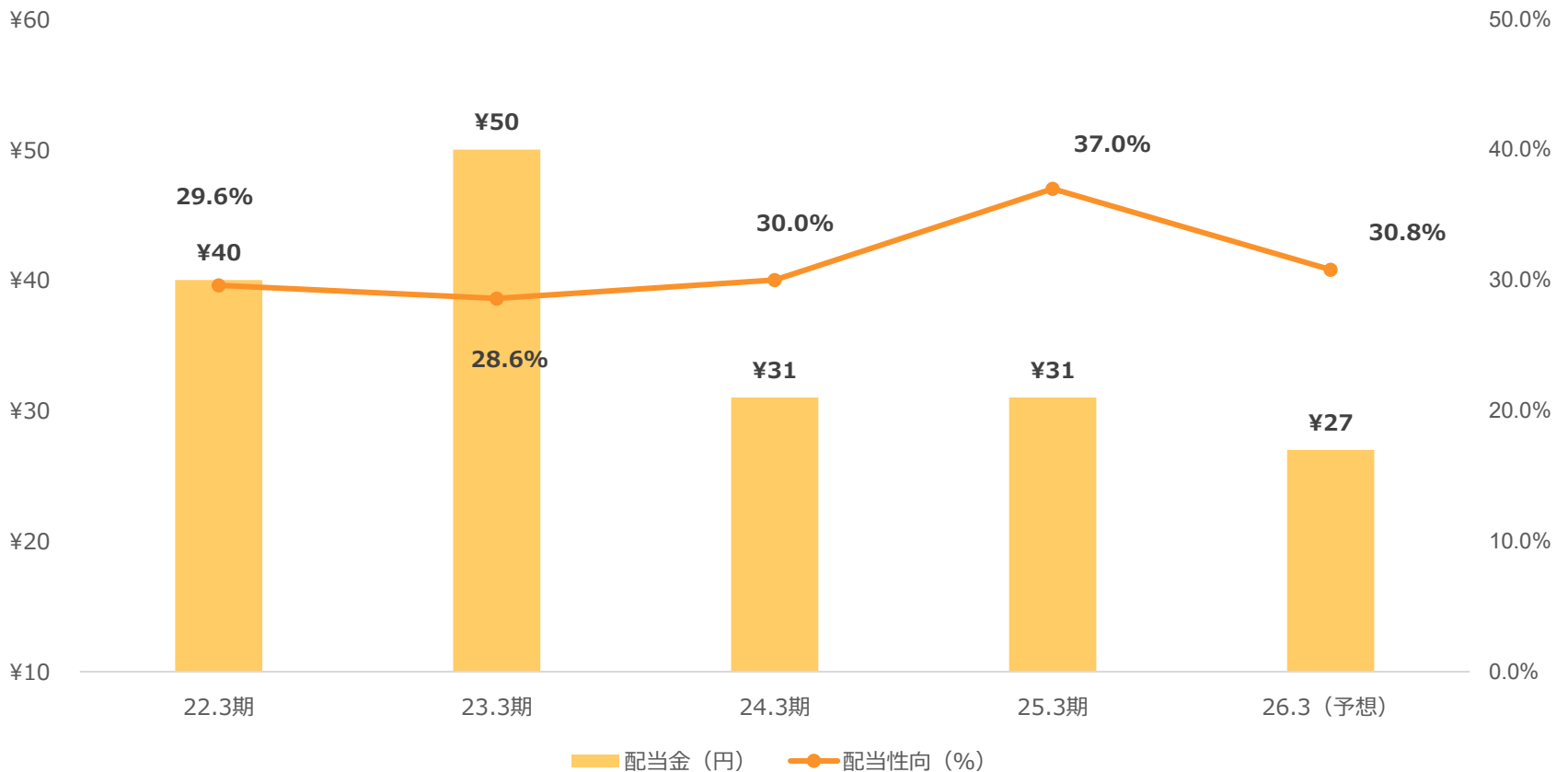
USD/JPY=149.00

3-4. 配当方針

株主還元方針：連結配当性向30%を目途に検討

2026.3期：配当性向30%程度を維持

2025.3期：1株当たり31円を配当



4. サステナビリティへの取り組み

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2026年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

4-1. サステナビリティ基本方針の策定

— サステナビリティ基本方針 —

サンリツグループは、「美しく魅力のある会社サンリツの実現を目指します」との企業理念を踏まえ、誠実な事業活動を通じて、社会の持続的成長に貢献します。

- 1 「経営品質の向上」のため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいきます。
- 2 物流の課題をソリューションすることで、新しい価値を創造します。
- 3 すべての人々の人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。
- 4 安全・安心で働きがいのある職場環境を実現していきます。
- 5 お取引先様、従業員、株主、地域の皆様等のステークホルダーと積極的にコミュニケーションを取ることで、「物流品質の向上」につなげていきます。

4-2. ジャパンハート 国際医療支援活動への寄付

◆ 概要

- ・カンボジアにおける病院建設・医療支援プロジェクトに賛同

◆ 取り組み

- ・医療機器物流に関する豊富な実績を活かし、ジャパンハートが必要とする医療機器の海外輸送を受託・実施
- ・医療現場を支える活動の重要性を改めて認識し、その一助となるべく寄付

◆ 今後

- ・事業活動と社会貢献を両輪とし、物流の力で人々の暮らしと命を支えることを目指す



4-3. 日本パッケージングコンテスト

◆受賞

- ・2025年日本パッケージングコンテスト 大型・重量物包装部門賞を受賞

◆実績

- ・従来ダンボールでは困難とされていた、50kg越えの重量物製品を木箱梱包ではなくダンボールのみでの梱包が可能
- ・木箱梱包から段ボール梱包へ改善したことで、作業負担や環境負担の削減



改善前：木箱梱包



改善後：段ボール梱包

身体作業負担 86%減	仕組み作製作業 100%減
作業工数 50%減	資材費 6%減
段ボール単一素材 100%リサイクル化	梱包作業 平準化

4-4. ダンボールアートコンテストの作品募集結果

◆ 概要

- ・6歳～84歳と幅広い年齢層から、125作品もの募集が寄せられた

◆ 結果

- ・グランプリ（1作品）タイトル：こわれものです
- ・優秀賞（2作品）タイトル：ダンボール製白菜カバン / 断面美エコフレーム
- ・受賞作品を含む二次選考に進出した7作品の情報は、弊社ホームページよりご確認ください

◆ 作品展示のお知らせ

- ・日時：2025年12月12日（金）18時以降～12月21日（日）
- ・場所：イオンモール成田 専門店街2階ASBee前
- ・展示内容：二次選考に進出した7作品を展示（グランプリ・優秀賞作品を含む）

グランプリ



（作品名：こわれものです）



（表彰楯）

優秀賞



（作品名：ダンボール製白菜カバン）

（作品名：断面美エコフレーム）

4-5. ダイバーシティ・職場環境の向上

第3回 女性交流会 「自分らしく輝く！サンリツで見つける私の働き方」



制度の紹介

産休・育休制度について
評価・等級・移動について

モデルインタビュー

グループリーダーを務める
女性社員へインタビュー

グループワーク

「働きやすさとキャリア」
「育児と仕事の両立」
について意見を出し合い
考えるグループワーク

横のつながりを深め働き方や仕事に対する考え方をプラスへ

職場環境アンケートの実施



改善事例

- ・夏場の交通費支給
- ・空調服や飲料水の配布
- ・気化式冷風機と大型扇風機の導入
- ・空調工事や空調ブースの設置

倉庫の一部を仕切り空調管理

4-6. サンリツ卓球部の活動

◆概要

- ・卓球部を1979年に創設 ・日本卓球リーグ女子1部に所属

◆直近の主な戦績

- ・2025年全日本卓球選手権大会（団体の部） **準優勝**
- ・ケアリッツ・アンド・パートナーズ 後期日本卓球リーグ埼玉大会 **準優勝**
- ・内閣総理大臣杯 日本卓球リーグプレーオフ JTTLファイナル4 **準優勝**

◆卓球を通じた交流

- ・サンリツ京浜事業所内にて、「第24回卓球教室」を開催



(写真提供：卓球王国)

地球をつつむ思いやり ロジスティクスパートナー



物流は梱包から
はじまる。

※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部

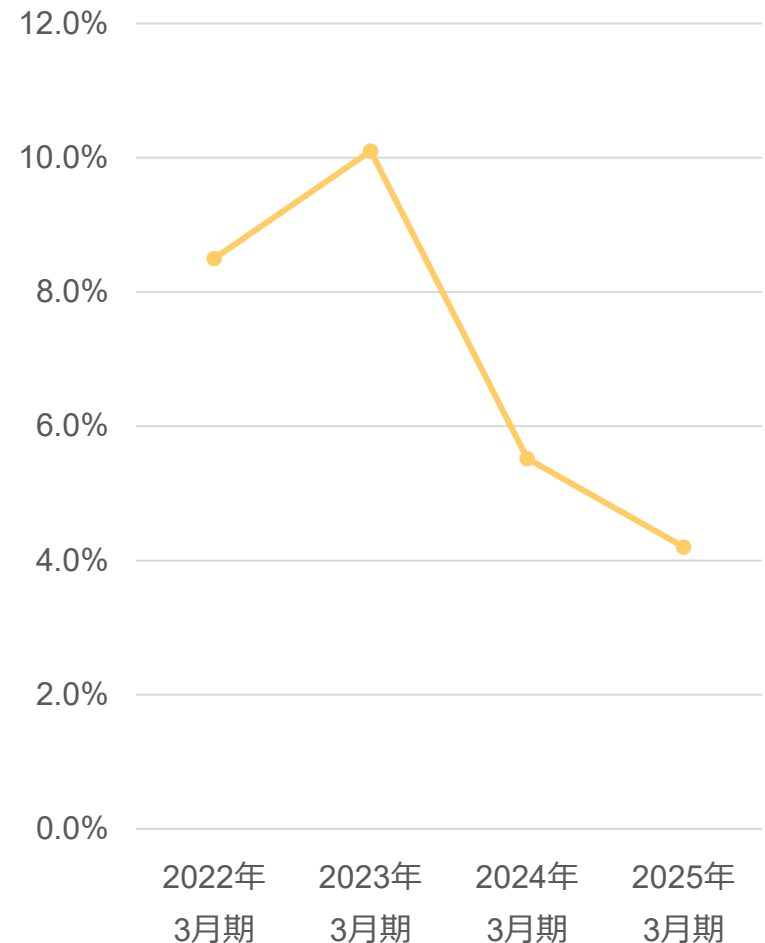
5. Appendix

1. 2026年3月期第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期
中期経営計画
3. 2026年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み
5. Appendix

2026年3月期 第2四半期連結貸借対照表

(百万円)	2025年 3月期末	2026年 3月期2Q	前期比増減
流動資産	8,515	6,708	-1,806
固定資産	16,158	17,085	927
有形固定資産	13,580	14,519	938
無形固定資産	190	159	-31
投資その他の資産	2,387	2,406	19
資産合計	24,674	23,794	-879
流動負債	6,713	5,411	-1,301
固定負債	6,163	6,935	771
負債合計	12,877	12,347	-529
純資産合計	11,796	11,446	-350
負債及び純資産合計	24,674	23,794	-879
流動比率	126.8	124.0	-2.8
自己資本比率	47.2	47.4	0.3

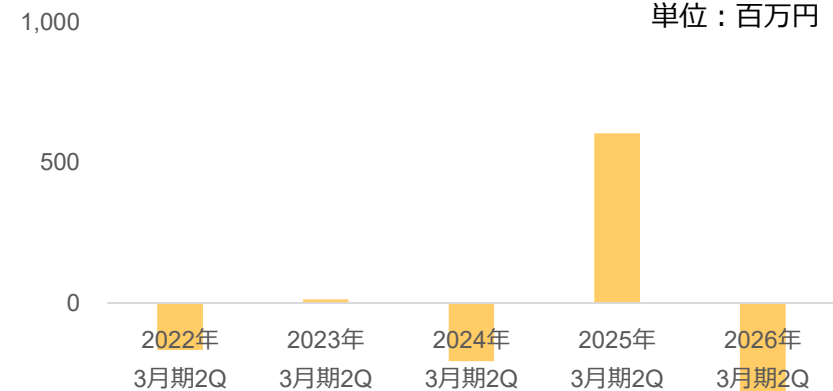
ROE推移



2026年3月期 第2四半期連結キャッシュフロー計算書

(百万円)	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q
営業活動によるC/F	1,169	780
うち税金等調整前当期純利益	317	356
うち減価償却費	410	423
うち賞与引当金の増減額 (▲は減少)	-6	-142
支払利息	35	80
うち売上債権の増減額 (▲は増加)	154	161
うち法人税等の支払額	-82	-167
投資活動によるC/F	-564	-2,576
うち有形固定資産の取得	-423	-2,556
うち差入保証金の差入による支出	-97	-51
うち差入保証金の回収による収入	0	45
財務活動によるC/F	437	259
短期借入金の純増減額 (▲は減少)	100	-200
長期借入れによる収入	2,350	2,510
長期借入金の返済による支出	-1,725	-1,756
リース債務の返済による支出	-114	-118
配当金の支払額	-172	-173
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	1,086	-1,632
現金及び現金同等物の期末残高	3,306	2,171

フリーCF推移



(500)

(1,000)

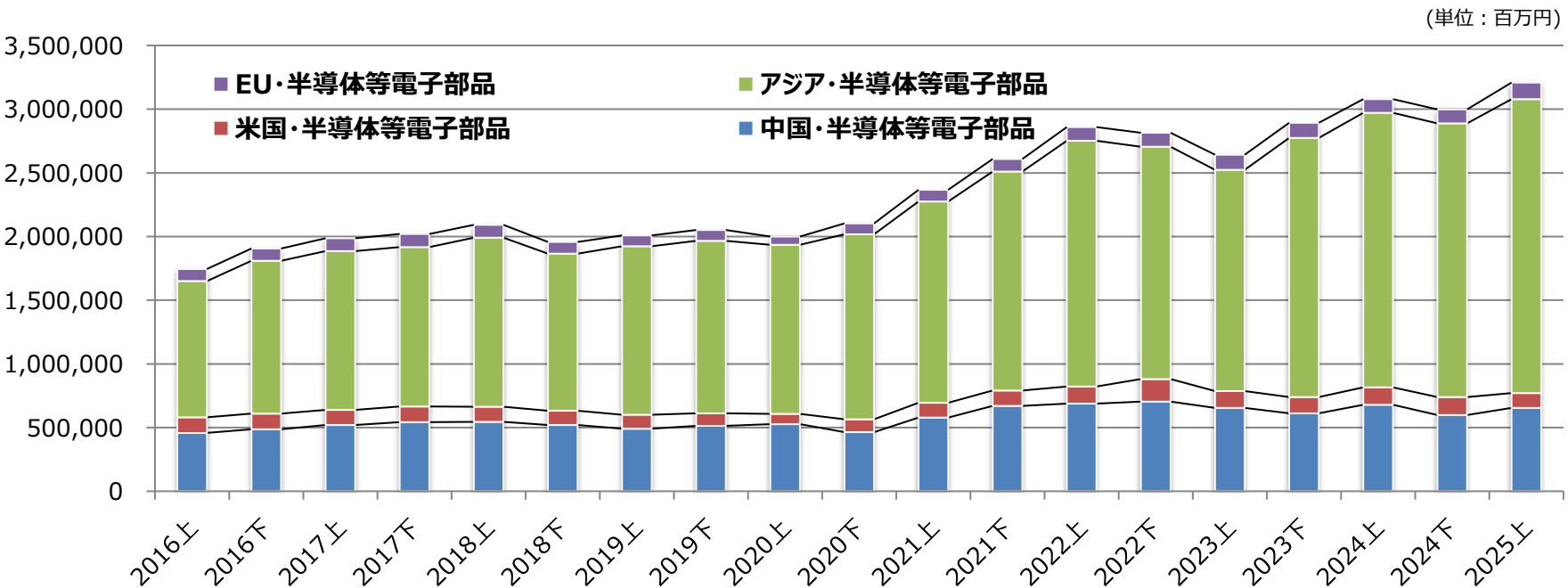
(1,500)

(2,000)

【参考】外部環境(～2025年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体等電子部品)

※半導体等電子部品…熱電子管、個別半導体、ICなど



出典：財務省貿易統計より

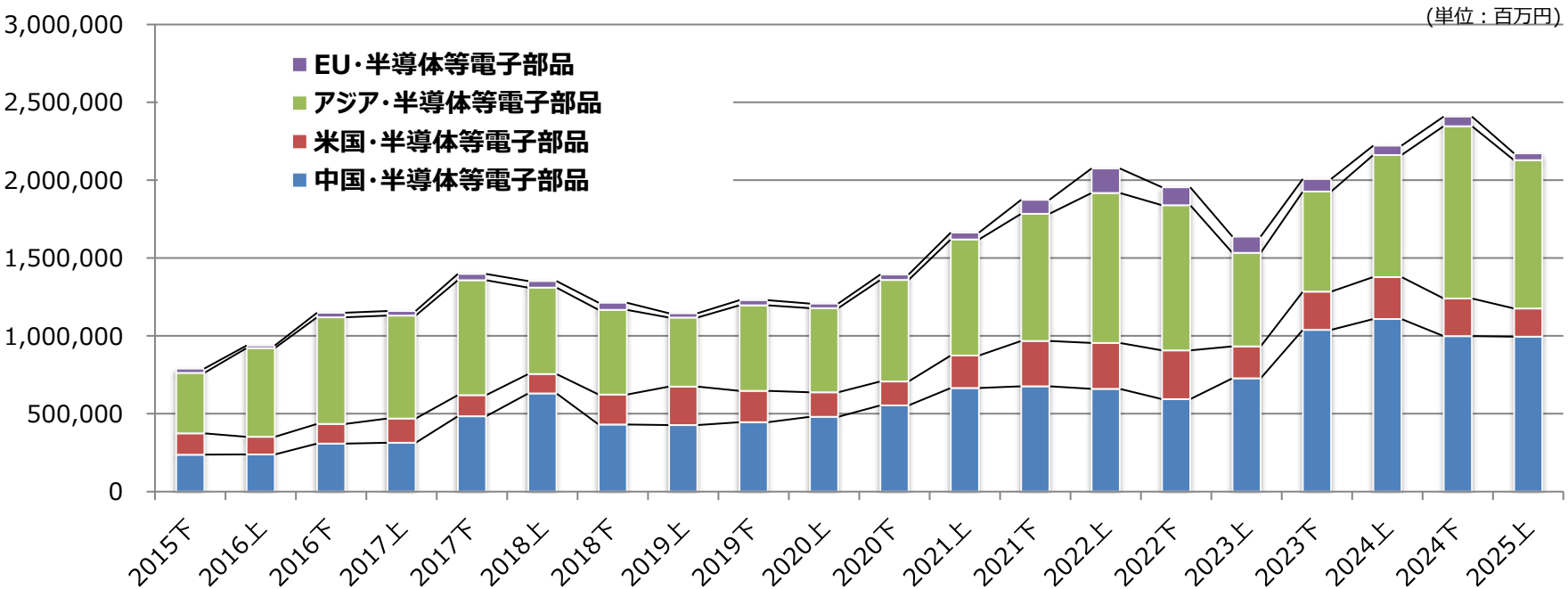
・米国向け以外は順調に増加

【参考】外部環境(～2025年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器

半導体デバイス又は集積回路製造用の機器



出典：財務省貿易統計より

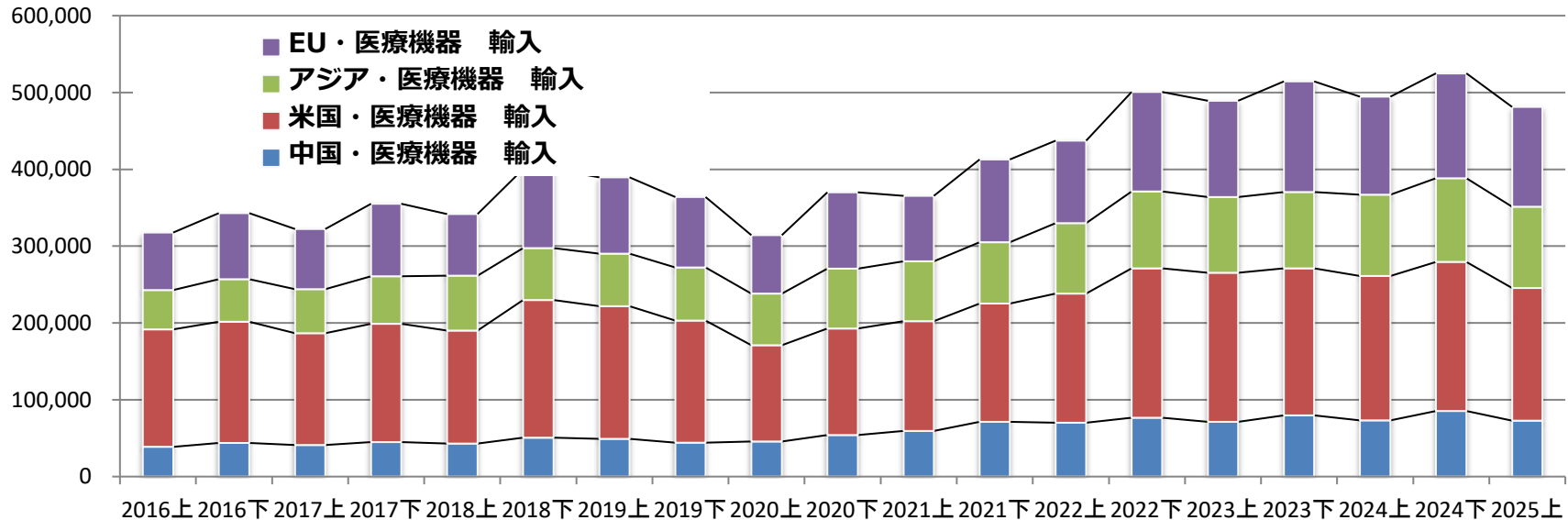
・2022年にピークを迎え、2023年上期で急激に減少在庫調整の動きか復調傾向がみられる。

【参考】外部環境(～2025年度上期)

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

(単位：百万円)



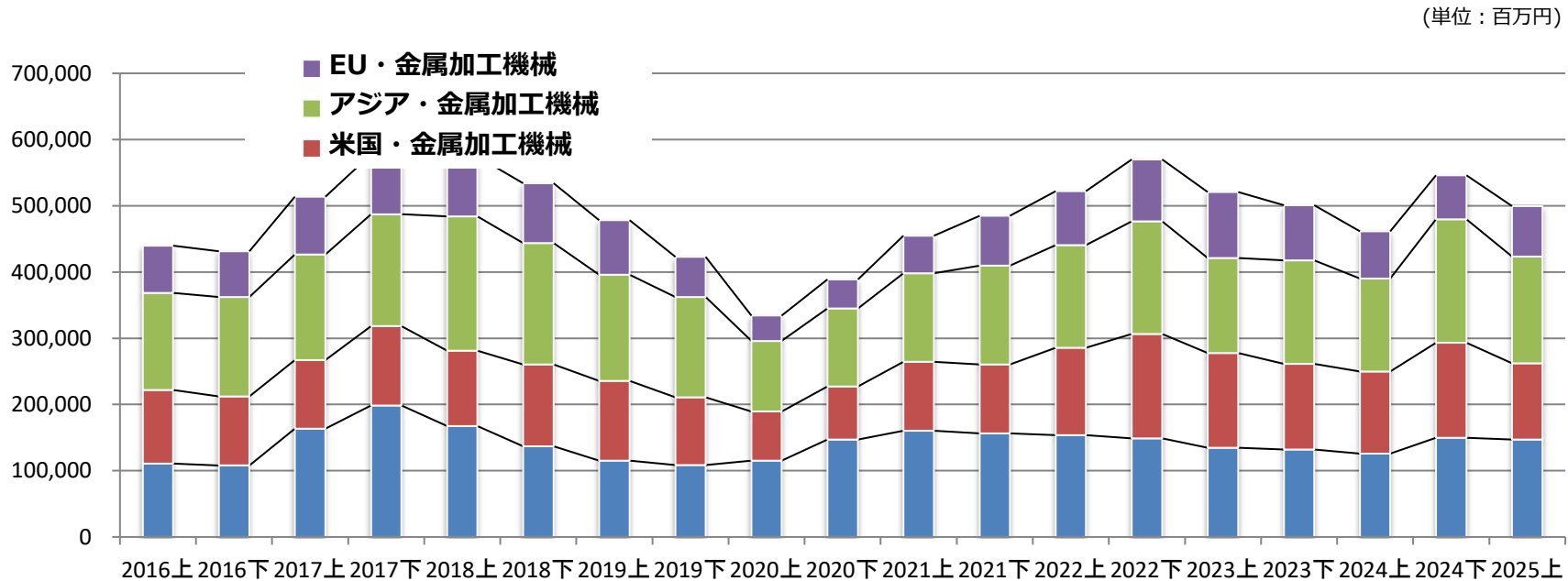
出典：財務省貿易統計より

・2020年を底に、おおむね堅調に増加傾向にある。

【参考】外部環境(～2025年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械



出典：財務省貿易統計より

・金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2020年下期に底打ち後、数年ごとにアップダウンを繰り返している。